

福島退公連 会報

発行日 令和 7 年 (2025 年) 1 月 20 日
 発行所 室 井 勝
 〒960-8043 福島市中町 5-21 (消防会館)
 TEL・FAX 024(522)0612
 URL <https://fukushima-taikouren.com>



令和 6 年度日公連全国大会開催

〈日 時〉令和 6 年 10 月 17 日 (木) 午後 1 時～ 〈場 所〉東京都 文京シビックホール

日公連全国大会が開催され、本県からは室井勝会長をはじめ佐藤孝信会津坂下支部長、山口健大沼支部長、大橋茂信事務局長、三浦彰子女性部長、高橋幸子理事ら 6 名が参加しました。

大会では、鴨下一郎会長から「活力ある高齢社会構築を念頭に、日本型社会保障制度の維持、高齢者の元気な生き方が世界のモデルとなるよう念願する」との所信表明があり、続いて来賓を代表して武見敬三前厚生労働大臣より祝辞がありました。(詳細は日公連新聞 11 月号に掲載) 今回は衆議院解散総選挙中で来賓も少なく、武見前大臣のほか 2 名の参議院議員でした。

組織表彰では努力賞の特別枠で前年より会員が増加した支部 (全国で 19 県 40 支部) が受賞しました。

記念講演では、元厚生労働省医政局長で現在内閣官房政策参与の武田俊彦氏から『人生 100 年時代の活力ある社会をめざして』と題してお話いただきました。

閉会のことばで、室井会長 (日公連副会長) は「退職公務員連盟の原点に立ち返って活動すること」「あきらめない気持ち」「活動への情熱を持って活動すること」などを話されました。

例年行ってきた、前日の国会議員への要望活動は、衆議院議員の総選挙期間中でもあり、実施しませんでした。



県退公連参加者



「閉会のことば」室井副会長

日本退職公務員連盟「われらの信条」

- 一 われらはかつて公務員であった矜持と面目を堅持しつつ理想的な日本公務員制度の確立を要望する
- 一 われらは全国民の福祉増進を念じつつ進んで公共に奉仕し平和的文化国家建設の大業に寄与する
- 一 われらは和を貴ぶ 同胞融合 隣保相助の民風を尊重し身をもってその育成につとめる
- 一 われらは思想的 政治的自由をもち 常に公正と中庸において帰一する
- 一 われらは組織のもとに団結する われらの生活はこの組織と団結によって断固自ら守りぬく

公的年金改革の動き

昨年(2024年)行われた公的年金制度に関するいわゆる「財政検証」にもとづき、今後の年金改革に関し厚生労働省の社会保障審議会年金部会で議論が行われてきました。

主な点は次のとおりです。

・基礎年金へのテコ入れ

公的年金の1階部分の基礎年金は、少子高齢化による調整であるマクロ経済スライド調整が長期化し、支給水準は低下していく見込みです。このため、

- ① 基礎年金の保険料拠出期間を現行の40年(20～60歳)から45年(20～65歳)に延長し、その分基礎年金額を増額することが考えられましたが、当面具体的検討は見送りとなりました。
- ② 基礎年金(1階)と報酬比例部分(2階厚生年金部分)のマクロ経済スライドの調整期間を一致させるため、その財源として、厚生年金の積立金の一部を基礎年金に移すことなどが議論されましたが、今後さらに検討すべき課題となりました。

・厚生年金加入者範囲の拡大

厚生年金は、働く人(本人)と勤務先(雇用主)が保険料を折半します。加入者の範囲はこれまで徐々に拡大されてきましたが、今後、働く企業規模の要件を51人以上から5人以上とするとともに、賃金要件の月額8.8万円以上を撤廃する方向とされました。

なお、週20時間以上の労働時間要件については今回は見直さないこととされました。

・いわゆる「年収の壁」と第3号被保険者制度

会社員や公務員が扶養する配偶者は、本人が保険料を負担せずに基礎年金を受け取れます。「第3号被保険者制度」です。この「第3号被保険者」が、収入が106万円を超えると厚生年金に加入することになり社会保険料が発生します。いわゆる「年収の壁」です。

この制度については経済界、労働者側から廃止の提言が出ていますが、当面は、上記の厚生年金加入者範囲の拡大を進めることにより制度の縮小を進める方向とされ、制度そのものについては今後の検討課題とされました。

・在職老齢年金制度の見直し

現在、就労し一定以上の賃金を得ていて、「(賃金+老齢厚生年金)>50万円」の場合当該老齢厚生年金の一部または全部の支給を停止する仕組み(在職老齢年金制度)となっています。

これを、50万円の基準額を62万円又は71万円に引き上げる、そもそも制度そのものを撤廃する、などが検討されています。

今後、必要な法改正に向けて国会での議論がなされるものと思われます。

現状を見ますと、諸物価の高騰により年金生活者の生活は厳しく、マクロ経済スライドの調整即ち年金水準の低下も続いております。

日公連・退公連は、これらを踏まえ、今般、1月16日に鴨下会長が総務大臣に要望し、厚生労働大臣には、1月21日に次の通り、年金制度改正へ緊急要望を実施することになりました。

令和6年度緊急要望

令和7年度の年金制度改正に当たり 次の三点を要望します

- 一 諸物価の高騰により 年金生活者の生活が逼迫している中 マクロ経済スライドの調整を早期に終了し 年金生活者の生活の安定を図られたい
また 調整期間終了までの間 名目下限措置を維持するとともに 厚生年金の財源を基礎年金勘定に積立金按分により拠出することは慎重に対処されたい
- 一 基礎年金の拠出期間延長等を実施し 基礎年金の給付水準の底上げを図るとともに 国庫負担相当分の財源を確保されたい
- 一 被用者年金保険の適用拡大を確実に実施し 年金水準の向上を図られたい

令和7年1月16日

日本退職公務員連盟



安達支部の活動状況

安達支部 事務局長 小林 淑人



ここ数年続いたコロナが静まりをみせていることから、今年度、安達支部では以前と同じ通常の活動を実施することができています。

6月8日(土)、福祉部主催による新緑の山形方面への「研修旅行」。上杉神社、浜田広介記念館、高島ワイナリーを見学。参加者は22名、ふだんなかなかお会いできない方とおしゃべりをしながら飲んだり食べたりの和気藹々で笑いが絶えない1日でした。

7月13日(土)、女性部主催の「絵手紙づくり」。参加者は福島支部4名の参加を含めた計16名、「絵手紙を描くとほっこりして心がゆたかになりました。」との感想が聞かれました。講師の先生作の素晴らしい絵手紙を印刷し、80歳以上の会員の方へ、暑中見舞いとして送りました。

9月14日(土)、「支部集会・敬老賀寿会」を42名の参加により盛大に開催。祝賀状贈呈後の祝宴の席はハーモニカ演奏やゲームで盛り上がりまし

た。99歳の白寿会員も出席くださり、元気なお姿を拝見できたことは実に喜ばしいことでした。

以上、これまで実施した主な活動を述べました。12月には「そば打ち体験教室」1月には「新年会」を開催する予定です。色々と課題もありますが、多くの会員の方々が参加し喜んでいただける行事を、今後も工夫して計画し、実施していきたいと思ひます。



浜田広介記念館

退職公務員連盟会員の皆さまのための

団体傷害保険のご案内

団体総合生活補償保険(標準型)

0120-216-226

申込期間: 2025年1月6日~2025年5月31日

保険期間: 2025年7月1日午後4時~2026年7月1日午後4時

お申込みはフリーダイヤルにご連絡ください

加入年齢の制限なし

健康の告知なし

5%の団体割引有り

(代理店・扱い者)
三井住友トラスト・ライフ・パートナーズ株式会社 本店営業部
東京都千代田区神田錦町3-11-1
(引受け保険会社)
三井住友海上火災保険株式会社 金融法人第二部
営業第一課 東京都千代田区神田駿河台3-11-1

基本補償金額		保険料 (年間保険料)	
<ul style="list-style-type: none"> ●入院中の手術: 30,000円 ●入院中以外の手術: 15,000円 ●ケガで入院: 3,000円(1日あたり) ●ケガで通院: 1,500円(1日あたり) ●ケガで死亡: 300万円 ●ケガによる後遺障害: 12万円~300万円 		Aプラン本人型 (職種級別A) 12,240円 (1年間)	
		Bプラン夫婦型 (職種級別A) 22,650円 (1年間)	
オプション	日常生活賠償保険	1億円	1,540円
	旅行見込賠償保険	30万円	本人型 2,030円 夫婦型 2,420円

随想

古関^{きんこ}金子と短歌

福島支部 今野金哉



やや古い話になるが、令和2年3月30日から11月28日まで、NHK朝の連続テレビ小説において、作曲家・古関裕而（本名勇治、福島市名誉市民第1号）と金子夫妻をモデルとした「エール」が放送

された。

生前の金子（旧姓内山。愛知県豊橋市生まれ）は、文学（短歌・俳句・詩等）を好み、詩集『極光』（跋・金子光晴）や歌集『ひまわりのうた』（22首所収、和綴じ本）を残しているが、そのことについては「エール」においては紹介されず、それを知っている人は少ないものと思っている。

歌集『ひまわりのうた』は、和紙に毛筆で書かれた、ただ1冊の歌集であり世には出ていない。

見開きのページには「ひまわりのひねもす陽をばあふぎつ」の俳句が置かれている。

以下、歌集中の何首かを紹介する。

くろかみのみだれもとかずこのあしたとほき恋

をばひた思ひつつ
暮れなづむ雪野の原をひた走る車の裡に君とわれあり
さざめきのさ中にありてたゞ一つ湖のごと澄める汝が瞳は
湖にむかひし花苑にわれ立ちて「我が太陽」をたからかに唱ふ
陽の光うるはしければなほさらに哀しかりけり
花の紅きが
あまりにもうるはしければ花一つ手折りて恋の歌に舞ひつゝ

こうした作品を見る限り、金子は与謝野晶子歌集『みだれ髪』などを読んでいたものと想像されるが、いかがであろうか……。

本歌集には、「遠き人へ寄せる唄一調べにのせて一」という一編の詩も書かれている。

なお、金子は、歌については「あいなめ会」に所属し、短歌や俳句よりは「詩」に力を入れていたものと思われる。（文中敬称略）

+++++ 【事務局だより】 +++++

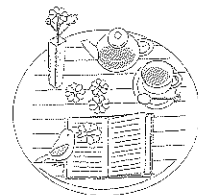
日公連女性部では、能登半島地震の災害に見舞われた会員に一時でもいいので「ほっとする時間」をもっていただくことを願い「絵手紙を送る」としました。これに基づき、各県の女性部長に対し協力依頼がありました。

本県は3枚作成し、新潟県に送ることになり、北会津支部の湯野尻千枝子女性部長に依頼し、作成していただき、送りました。

新潟県退公連の高野豊子女性部長から「素晴らしいお花の絵手紙をいただき、優しさに勇気づけられました。」との丁寧な御礼のハガキをいただきました。

◎今後の予定

- 3月14日(金) 第3回理事会
- 4月21日(月) 令和7年度評議員会
- 場所 郡山市 ビッグパレット
- 5月19日(月) 令和7年度支部連絡会議
- 場所 郡山市 ビッグパレット



編集後記

今年度最終の213号をお届けします。会員皆様のご協力により計画通りに会報を発行することができました。ありがとうございました。

今年度は6年ぶりの県大会の開催をはじめ、諸会議等計画したすべての行事を実施することができました。

定年制の延長で昨年度は定年退職者がなく、退職者激減の中、会員勧誘にご協力いただいた各支部に感謝いたします。

《百歳万歳》
ご長寿おめでとうございます。
百歳賀寿を受けられた方です。

〔白河支部〕 水野谷 可乃様
大正13年10月13日生まれ

〔福島支部〕 半沢 チイ様
大正13年12月12日生まれ